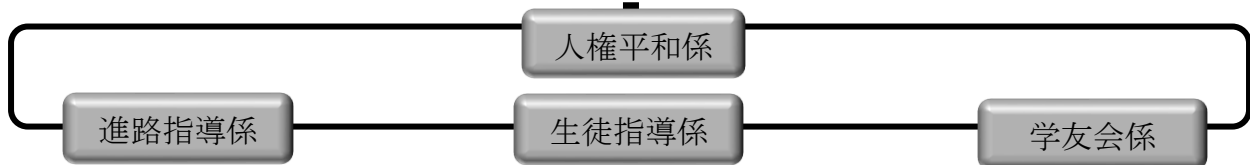


令5年度 道徳教育全体計画

学校 番号	30	上田染谷丘 高等学校	全日制 課程	普通 科 国際教養
----------	----	---------------	-----------	-----------------

学校教育目標	
向学の気風あふれる活気に満ちた学校づくりを通して、学力・情操・身体の調和ある発達を図り、将来の地域社会を担い、国際社会の平和と発展に寄与できる人間を育成する。	
学校教育目標方針および重点目標	
1 自己実現を目標とした進路実現	2 地域や国際社会で活躍する人事の育成
3 他者と協働できる生徒の育成	4 安心安全な学校づくり
5 学習活動の充実（ICTの活用）	6 交通マナーに対する意識付け
7 開かれた学校づくり（情報発信の充実）	
道徳教育重点目標	
1 いじめや差別などの人権問題を、自らの問題としてとらえその問題解決に取り組む人間の育成。	
2 平和・人権・社会を大切にすることを育む。	
3 一人ひとりが社会の対等な構成員として、自己肯定感をもって活動に参画する社会の実現者の育成。	



目標
将来の進路選択や進路実現に関わる様々な取り組みを通じて自分自身と他者の特性を知り、相互理解を高める資質を養う。

主な取り組み

- ・就業体験や職業学問理解（全学年）
- ・東京研修（1年）
- ・進学講演会・大学説明会（全学年）

目標
学習に専念できる落ち着いた校内の環境づくり。規律正しい生活習慣の確立と維持。生徒の自主的・社会的な成長の支援。相談室運用体制の整理・整備。

主な取り組み

- ・交通安全教室（全学年）
- ・生活の決まり徹底週間（全学年）

目標
学友会活動において他者と協働することの大切さを学ぶとともに、地域の方々との積極的な交流を通して、社会性を身に付ける

主な取り組み

- ・染谷祭
- ・ボランティア活動（Sクラブ）
- ・通学路清掃

各学年

1 学 年	自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本となる態度を養い、資質・能力を高める。 キャリア教育探求→ 東京研修、進路講演会、各種職業体験活動、文理選択、交通安全教室 HR活動 → 合唱コンクール、SNSの正しい利用法、人権学習（いじめのない学校生活のために） 生徒会活動→ 班活動における望ましい人間関係について、染谷祭、ボランティア活動
2 学 年	主体的に行動する態度を養い、よりよい社会の創造に係わる一員として他者と協働する行動を身につける。 キャリア教育探求→ 進路探究、進路講演会、各種職業体験活動、進路別科目選択、交通安全教室 HR活動 → 合唱コンクール、SNSの正しい利用法、平和学習（沖縄修学旅行事前学習） 生徒会活動→ 班活動で行われる諸活動、生徒会の運営、ボランティア活動
3 学 年	社会の諸問題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、道徳的実践意欲を涵養する。 キャリア教育→ 進路探究、進路講演会、SNSの正しい利用法、交通安全教室 HR活動 → 合唱コンクール、高校卒業後の在り方について 人権学習 生徒会活動→ 班活動のまとめ、生徒会及び染谷祭の運営、ボランティア活動

各教科

文系・理系教科を問わず、それぞれの教科の特性を生かし、幅広い学問について理解を深めさせるとともに、人権意識などを身に付け、民主的でよりよい社会の創造に寄与する資質・能力を養う。

国語	言語を通じて適切に表現・的確に理解することで、互いの立場や価値観を尊重し、人間関係を良好に深めていく能力を身につける。また、思考力・想像力・洞察力を高め、道徳的心情や理性的判断力を涵養する。
地理・歴史	グローバル化が進展する国際社会で主体的に民主的・平和的な国家・社会を追究できる資質を育成する。
公民	民主的・平和的な国家・社会を形成するに必要な公民としての資質を養うために、自覚的に人間としての在り方・生き方を探求できる広い視野を育成する。
数学	数学的活動を通じて、知的好奇心や豊かな感性、正義心を育む。また粘り強く考える態度や創造性の基礎を養う。
理科	自然界の様々な事象や生命現象に関わる学習を通じて、科学的な観点から自然と人間社会の共存のあり方や生命の尊厳に関する道徳観・倫理観について理解を深める。
保健体育	スポーツの実践を通じて、仲間との共生の心を養い、公正な態度やルールを守り、集団行動に必要な時間の遵守、挨拶、社会生活等のマナーを学ぶ。
芸術	芸術における見方、考え方を働かせ、感性を高め、心豊かに生活できる資質を育む。また他者の価値観を認め合う態度を養い、豊かな情操を培う。
外国語	より広い価値観や考え方で物事を捉えることのできる国際感覚や国際協力の精神を育成するとともに、外国の言語や文化に対する理解を深め、性差、宗教や人種の違いなどを受容する心を育てる。
家庭科	家庭や地域社会の一員としての自覚をもち、よりよい社会の構築に向けて、積極的に地域社会に参画し、様々な人々と協働するなかで相互に認め合う心を育み、家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
情報	情報に関する科学的な見方、考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方、態度を育む。また職業人に求められる情報モラルに関する倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
総合的な探究の時間	主体的・協働的に取り組み、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現していく態度を養う。



家庭・地域との連携

- ・地域からの多大な信頼および期待を担っている学校として、その期待に応えるべく地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に行動する態度を育成する。
- ・本校の教育活動全体を通じ、生徒の自己肯定感を高めるとともに、相互に認め合う心を育み、家庭と連携し、一人ひとりの生き方を尊重する態度を育成する。

特別活動

- 人権平和教育（全校）12月7日（木）
- 修学旅行（2学年）10月23日（月）～10月26日（木）